

## 平成 30 年度事業の実績報告

学園寄附行為第 34 条第 2 項に基づき平成 30 年度事業の実績について、その概要を報告するものである。

本県では、少子高齢化の進展で、幼児・児童の減少傾向が続いている。国や県などでは子育て・少子化対策に取り組んでいるが、本県は今後一層の人口減少が進むものと見込まれている。このため、本学園としては危機感を持ちスクールバスの運行や斬新的な広報活動、学科改変や認定こども園への移行等により、園児・生徒の確保や学力向上のための方策を打ち出してきた。

さらに平成 28 年度から高校校舎・体育館の耐震改築工事を進め、平成 30 年 4 月から教室棟と城北アリーナの供用を開始した。また、平成 31 年 2 月には第一体育館の改修工事が完了して、2 階のサブアリーナの供用を開始するとともに、4 月からは 1 階の城北横丁（ランチルーム）がオープンして寮生の給食や一般生徒への昼食販売も始まっている。

幼稚園では、平成 30 年 3 月に第一、第三、第五の各幼稚園が幼稚園型認定こども園として認定を受け、平成 30 年度からは全園が認定こども園として運営している。また、平成 30 年度から幼児給食を鳥取幼稚園給食センターに委託して、安全・安心でおいしい給食を提供し、保護者から好評を得ている。

平成 29 年 11 月に各種学校の設置認可を受けた鳥取城北日本語学校は、平成 31 年 2 月に、法務省から留学生を受け入れる日本語教育機関としての正式な告示があった。平成 31 年 4 月 1 日に開校し、同月 10 日に入学式を行った。平成 31 年度新入生は、17 名である。

なお、当学園は、前身である財団法人鳥取ドレスメーカー女学院が昭和 24 年 10 月に設立されてから 70 周年を迎える平成 31 年 4 月 1 日をもって、学園名を「矢谷学園」から「鳥取学園」に改め、今後、鳥取県東部地域における私立学校の中心的存在として、一層の発展を目指すこととしている。

以上のとおり、厳しい経営環境の中でも積極的な学園運営を進めるとともに、「社会をつくるのは人であり、人をつくるのは教育である。社会の発展の基礎は教育にある。」という建学の精神に則り、特色ある学園運営に努めた。

(寄附行為 第 34 条第 2 項 理事長は、毎会計年度終了後 2 か月以内に、決算及び事業の実績を評議員会に報告し、その意見を求めなければならない。)

## 1 法人の状況

(1) 名 称 学校法人 鳥取学園

(2) 法人成立 昭和 38 年 3 月 28 日

(3) 目 的 教育基本法及び学校教育法に従い学校教育を行い豊かな人間性を涵養し、社会に貢献する有意な人材を育成する。就学前教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、幼児期の教育・保育を行い、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。

### (4) 設 置 校

区 分	開 校	知事認可日	備 考
鳥取城北高校	昭和 38 年 4 月	昭 38. 3. 12	—
認定こども園 鳥取第一幼稚園	昭和 30 年 6 月 平成 30 年 4 月	昭 30. 6. 7 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第二幼稚園	昭和 41 年 4 月 平成 26 年 4 月	昭 41. 4. 6 平 26. 3. 31	平成 27 年度から幼保連携型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第三幼稚園	昭和 43 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 43. 3. 13 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第四幼稚園	昭和 53 年 4 月 平成 24 年 4 月	昭 53. 2. 27 平 24. 3. 30	平成 27 年度から幼保連携型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第五幼稚園	昭和 55 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 55. 1. 12 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
鳥取城北日本語 学校	平成 31 年 4 月	平 29. 11. 16	平成 31 年 2 月 22 日に、法務 省から留学生受入校として 適合する旨の告示

### (5) 役員等の状況 (平成 31 年 4 月 1 日現在)

#### ① 理事 (寄付行為第 6 条 8~15 人)

	職 務	氏 名	就任年月日	任期満了日	備 考
1	理事長	石浦 外喜義	(24.5.30) 30.4.1	33.3.31	鳥取城北高校校長 1 号 鳥取城北日本語学校校長 3 号
2	常務理事	林 喜久治	(26.9.25) 31.4.1	34.3.31	元鳥取大学理事・副学長 5 号
3	理 事	坂尾 敦美	31.4.1	32.3.31	認定こども園鳥取第二幼稚園長 2 号
4	理 事	石川 晴久	(25.4.1) 30.5.30	33.5.29	鳥取城北高校副校長 4 号

5	理事	田村 雅子	30.4.1	33.3.31	認定こども園鳥取第一幼稚園長 4号
6	理事	金井 哲治	(26.7.12) 31.4.1	34.3.31	前スギホールディングス(株)常勤監査役 5号
7	理事	油野 利博	30.7.27	33.7.26	鳥取大学名誉教授 5号
8	理事	西村 岩雄	30.4.1	33.3.31	鳥取城北高校教頭 4号

注) 就任年月日の ( ) 内は、当初の理事就任年月日

② 監事 (寄付行為第6条 2人)

	職務	氏名	就任年月日	任期満了日	備考
1	監事	花房 幸範	(26.9.30) 31.4.1	34.3.31	アカウンティングワークス(株) 代表取締役 (公認会計士)
2	監事	池上 勝治	(26.12.22) 31.4.1	34.3.31	元智頭急行 (株) 代表取締役社長

注) 就任年月日の ( ) 内は、当初の監事就任年月日

③ 役員待遇者

	職務	氏名	就任年月日	任期年月日	備考
1	スーパーバイザー	中江 康人	(28.4.1) 31.4.1	34.3.31	AOI TYO Holdings (株)代表取締役社長
2	スーパーバイザー	山内 三郎	30.7.27	33.7.26	(株)リテールサポート 社長
3	アンバサダー	横綱 白鵬 翔	(27.2.20) 30.2.20	33.2.29	

注) 就任年月日の ( ) は当初の就任年月日

④ 理事会

	開催日	主な議題等
1	30.4.27	評議員の推薦、平成30年度当初予算の修正、事務組織、 会計検査の概要、校舎改築事業
2	30.5.30	学園評議員の推薦、決算及び事業実績
3	30.6.29	平成30年度補正予算(案)、学園評議員の選任(学識経験者) 高速プリンターの購入契約の締結
4	30.7.27	役員を選任等、鳥取幼稚園エアコン設置工事の請負契約 鳥取城北日本語学校文科省ヒヤリングの概要
5	30.8.24	校舎改築工事請負契約締結等 矢谷学園文書管理規則の制定、鳥取城北日本語学校関係

6	30.9.28	第一体育館改修工事請負契約の締結 相撲場へのモイストプロセッサの使用貸借契約の締結
7	30.11.9	車両の購入契約の締結、ランチルーム機器一式の契約 本校舎モイストプロセッサの保守点検業務委託契約の締結
8	30.12.14	平成 30 年度矢谷学園中間決算、法人名称の変更
9	31.1.18	寮生給食業務委託契約の締結 高校ランチルーム備品購入契約の締結
10	31.2.22	グラウンド工事請負契約の締結、組織運営に関する規則の一部改正 契約の事務手続きに関する規則の全部改正、基幹人事、 理事等の選任
11	31.3.22	平成 30 年度補正予算（案）、平成 31 年度当初予算（案） 鳥取城北高校校舎改築等全体計画の一部変更 教職員の服務に関する規則の一部改正 教職員の旅費に関する規則の一部改正 学校法人名を「矢谷学園」から「鳥取学園」に変更すること等に伴う 関連規則の一部改正

⑤ 評議員（寄付行為第 19 条 理事の 2 倍超）

		氏 名	任 期	備 考
1 号（職員） 理事会推薦 （評議員会選任）	1	石川 晴久	30.5.30 ～ 33.5.29	鳥取城北高校
	2	堀場 淳子	31.4.1 ～ 34.3.31	鳥取城北高校
	3	西村 岩雄	31.4.1 ～ 34.3.31	鳥取城北高校
	4	伊藤 真介	31.4.1 ～ 34.3.31	鳥取城北高校
	5	浦島 洋文	30.5.31 ～ 33.5.30	鳥取城北高校
	6	田村 雅子	30.5.31 ～ 33.5.30	認定こども園第一幼稚園
	7	横山 美代子	29.5.30 ～ 32.5.29	認定こども園第三幼稚園
	8	青木真奈美	30.5.31 ～ 33.5.30	認定こども園第四幼稚園
	9	山田 健二	31.4.1 ～ 34.3.31	鳥取城北高校
2 号（卒業生） （理事会選任）	10	谷口 洋一	31.4.1 ～ 34.3.31	鳥取城北高校
	11	佐々木 重行	31.4.1 ～ 34.3.31	鳥取城北高校
	12	砂田 典男	31.4.1 ～ 34.3.31	鳥取城北高校
3 号（学識経験者） （理事会選任）	13	岡田 信俊	30.6.29 ～ 33.6.28	有限会社オカダ人形
	14	近藤 剛	28.8.1 ～ 31.7.31	鳥取短期大学

	15	上田 隆司	30.5.31	～	33.5.30	鳥取城北高校 P T A
	16	中川 貴志	30.5.31	～	33.5.30	認定こども園 第一幼稚園 P T A
	17	田中 治	30.5.31	～	33.5.30	認定こども園 第二幼稚園 P T A
	18	尾崎 政雄	30.5.31	～	33.5.30	認定こども園 第三幼稚園 P T A
	19	岩永 一彦	30.5.31	～	33.5.30	認定こども園 第四幼稚園 P T A
	20	太田 和裕	29.5.29	～	32.5.28	認定こども園 第五幼稚園 P T A
	21	倉本 慎太郎	30.6.29	～	33.6.28	鳥取市立西中学校
	22	岸本 一洋	30.12.14	～	33.12.13	株式会社山陰合同銀行

## ⑥ 評議員会

	開催日	主な議題等
1	30.5.30	学園評議員の選任、評議員会選任の理事、事業実績
2	30.6.29	6月補正予算（案）
3	30.12.14	寄附行為一部変更（法人名称の変更）、予算編成の基本方針（案）
4	31.3.22	平成30年度補正予算（案）、平成31年度当初予算（案）

## (6) 学園全体の取り組み

### ① 次世代育成支援対策推進法に基づく学校法人矢谷学園行動計画

（平成23年4月から5年間、更新：平成33年3月31日まで）

目標1 子育てを行う労働者等の職業生活と家庭生活との両立を支援するため雇用環境の整備

- ① 教職員に育児休業中の待遇等について周知徹底を図るとともに、男性も育児休業が取得できることの周知徹底と取得を促進する
- ② 全教職員に短時間勤務制度の周知徹底を図り、小学校就学の始期に達する子と同居しその子を養育する教職員への取得を促進する

目標2 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

- ① 有給休暇の取得促進のため、時間単位、半日単位休暇の周知徹底を図るとともに、長期休業中の取得を促進する
- ② 教職員に学校行事や地域行事に積極的に参加するよう周知するとともに、参観日等のための有給休暇取得を奨励する。
- ③ 所定外労働は例外的な場合のみに行われるものであるという認識の周知徹底と意識改善を図り、所定外労働の削減を図る

- ② 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画  
 (平成 30 年 2 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日)  
 目標 1 : 男女ともに平均勤続年数を 2 年以上延ばす  
 目標 2 : 今後ともに女性の管理職の育成を行い、女性の働きやすい環境整備、処  
 遇改善、職員のキャリアアップ等を行い、就業年数を延ばす
- ③ 鳥取県男女共同参画推進企業認定に基づく取組  
 (初回認定 平成 23 年 3 月 1 日、更新 平成 26 年 2 月 28 日、  
 更新 平成 29 年 3 月 29 日)  
 母性健康管理のための休暇等に関する規程 平成 26 年 10 月 1 日施行
- ④ あいサポート企業(団体)の認定  
全ての人々が住みやすい社会の実現を目指す「あいサポート運動」に賛同し、  
 県からあいサポート企業(団体)の認定を受けた。(平成 30 年 10 月 26 日)  
 ・あいサポート運動推進研修会開催(平成 30 年 12 月 11 日)
- ⑤ 情報公開  
・広報委員会の設置(H30.10月)と学園通信 MIRAI や鳥取学園パンフレッ  
 トの発行
- ⑥ 学園改革プロジェクト(平成 28 年 11 月 30 日理事会承認)  
平成 30 年 11 月 9 日、下記のとおり部門の廃止、改組等を行った。  
 (同日、理事会報告)  
 ア 組織改正→廃止: 今後は学園内理事懇談会等の場で検討を進める。  
 イ 経費削減→改組: 経費削減 P T を設置  
 ウ 学園名変更→平成 31 年 4 月 1 日付で学園名変更。改組・存続: 広報につ  
 いては、広報委員会を設置。寄付金募集については、当分  
 の間存続  
 エ 職場改善→廃止: 城北高校校舎改築事務関係 P T、時間外勤務削減 P T  
 高校業務改善 P T を設置  
 オ 渉外・業者・管理→存続: 校舎改築事業完了まで存続  
 カ 生徒募集→廃止: 相当数の生徒が確保されている。

## 2 施設別の主な事業実績

### (1) 鳥取城北高等学校

昭和 38 年 4 月の開校から 56 年経過、質実剛毅の校訓を基底に全日制 33 学級を編成。平成 31 年 4 月から「普通コース」を「研志コース」に名称変更した。ホスピタリティを重視し、生徒・保護者・教師がともに幸せになれる教育をめざし、グローバルスタンダードな視点を持ち、社会に通用する力と豊かな心を育む教育活動を展開した。

また、校舎・体育館の耐震改築工事は計画通り進捗し、平成 30 年度には第一体育館の大規模改修が完成するとともに、特別教室棟の改築、グラウンド整備工事に着手した。

主な項目	概 要				
	学級編成	定員 (人)	生徒数 (30.5/1)		参考 (令和元.5/1)
普通		1,080	33CL	1,111 人	32CL
教職員数 30.5/1 ( )内は、令和元 5/1	区分	教員	職員	計	合計
	常勤	76 (78)	17 (17)	93 (95)	117 人
	非常勤	11 (11)	13 (15)	24 (26)	(121 人)
学力向上の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強合宿 (2 回 とりぎん文化会館 大山 経費 103,840 円)</li> <li>・城北栄光塾 (無料校内塾)</li> <li>・放課後アクティブタイム (学習定着率高揚)</li> <li>・FabLab (ファブラボ:ものづくり部備品) 経費 85,739 円</li> </ul>				
保育体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取幼稚園児とのふれあい学習 経費 59,261 円 (県補助 3/4)</li> </ul>				
教育相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー配置 2 人 経費 2,431,374 円</li> </ul>				
施設設備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎・体育館耐震改築工事の推進 (1 期) 工期 28.12/23~31.7/31 (校舎・体育館完成 30.3.) 施工業者 松本・平田・八幡特定建設工事共同企業体 契約金額 2,710,800 千円 整備内容 校舎 (鉄骨造 5 階建) 6,121.16 m<sup>2</sup> アリーナ(鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建) 2,237.35 m<sup>2</sup></li> <li>・特別教室棟耐震改築工事 (2 期) 工期 30.8/28~32.2/28 施工業者 松本・平田・八幡特定建設工事共同企業体 契約金額 292,680 千円</li> </ul>				

	<p>整備内容 校舎（鉄骨造 2 階建塔置屋付）638.4 m<sup>2</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一体育館改修工事（2 期） 工期 30.10/2～31.2/28 施工業者 松本・平田・八幡特定建設工事共同企業体 契約金額 120,000 千円</li> </ul> <p>整備内容 1 階 普通教室→ランチルーム 2 階 体育館→体操用ピット塞ぎ補修、外壁塗装 内部腰壁張替 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンド整備工事（3 期） 工期 31.3/1～31.8/25 施工業者 松本・平田・八幡特定建設工事共同企業体 契約金額 138,024 千円</li> </ul> <p>整備内容 グラウンド 8,155 m<sup>2</sup> サッカー場：人工芝、外周走路：全天候型舗装 防球ネット、シュート練習壁 等</p>												
学 校 給 食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寮（常盤寮、親和寮、誠心寮、城翔寮）</li> <li>・新たなランチルームができるまでの間、平成 30 年度弁当提供を委託 昼弁当提供 105,689 食＝県内産 30%（29 年度 109,118 食）</li> <li>・仕出し「鳥ヶ島」業務委託</li> </ul>												
広 報 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試説明会（東部 9 月、中・西部 10 月）</li> <li>・進学相談会の充実（30.11～12）</li> <li>・HP 改修、スマートホンアプリ導入</li> <li>・生徒募集 CM ケーブル TV 「部活動ガンバ」など番組</li> <li>・オープンスクール（30.7） ・部活動体験入部（30.8）</li> <li>・鳥スポNEWS 賛助会員</li> </ul> <p>&lt;大相撲を始めとする本校卒業生の活躍&gt;</p>												
就 職 内 定 率	<table border="1"> <tr> <td>25 年度</td> <td>26 年度</td> <td>27 年度</td> <td>28 年度</td> <td>29 年度</td> <td>30 年度</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </table>	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度								
100%	100%	100%	100%	100%	100%								
進 学 率	<table border="1"> <tr> <td>25 年度</td> <td>26 年度</td> <td>27 年度</td> <td>28 年度</td> <td>29 年度</td> <td>30 年度</td> </tr> <tr> <td>72.5%</td> <td>72.8%</td> <td>77.7%</td> <td>74.0%</td> <td>76.5%</td> <td>78.1%</td> </tr> </table> <p>（大学進学率 近年 30%台から 30 年度 48.5%へ）</p>	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	72.5%	72.8%	77.7%	74.0%	76.5%	78.1%
25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度								
72.5%	72.8%	77.7%	74.0%	76.5%	78.1%								

進学状況		<b>【大学入試合格状況】</b> 国公立大学 51 名（短期大学 2 名） （鳥取大学 13 名（医学部医学科等）、島根大学 6 名 外） 私立大学 242 名（短期大学 2 名）（同志社大学 3 名、関西大学 5 名 外） 普通コース初、国立大学（鳥取大学、島根大学、高知大学）3 名 看護系大学 17 名、看護専門学校 29 名			
学校評価 (学校運営 の改善)	重点目標	生徒指導、学習指導を学校運営の両輪として、「鳥取城北生 5 つの誓い」を実践する。			
	各項目 評価	学力強化	進学指導	就職指導	人権教育
		B (C)	B (A)	A (A)	A (A)
		生徒指導	生徒会	AL 推進	教育相談
		A (A)	B (B)	(B)	A (B)
目標達成度合により A>B>C>D で評価 ( ) は 29 年度評価					
部 活 動	運動部	○相撲部 ・鳥取県高等学校相撲春季大会 団体優勝、個人 各階級優勝 ・鳥取県高等学校総合体育大会 団体・個人優勝 ・中国高等学校相撲選手権大会 団体優勝 個人優勝（100kg 未満級・100kg 以上級・無差別級） ・全国高等学校相撲選手権大会 団体 2 位 ・全国選抜高校相撲十和田大会 団体優勝 ・中国高校相撲選手権大会 団体・個人優勝 ・全国選抜高校相撲宇佐大会 団体 2 位 ・国民体育大会相撲競技 団体 3 位 ・中国高等学校相撲新人大会 団体優勝 個人優勝（1 年生・2 年生・無差別級） ・全国選抜高校相撲弘前大会 団体優勝・個人 2 位 ・全国高等学校相撲新人選手権大会 団体優勝 ○女子相撲部 ・全国選抜女子相撲大会 個人 軽量級 3 位 ・全日本女子相撲選手権大会 団体優勝 個人 軽量級 2 位 ○硬式野球部 ・第 100 回全国高等学校野球選手権鳥取大会 優勝 第 100 回 全国高等学校野球選手権大会(夏) 甲子園出場 ・秋季鳥取県高等学校野球大会 優勝			

部		<p>○女子ソフトボール部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国高校ソフトボール大会鳥取県予選会 優勝</li> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会ソフトボール競技の部 準優勝</li> <li>・鳥取県高校ソフトボール新人戦兼全国選抜大会鳥取県予選会 5年連続優勝</li> </ul> <p>○サッカー部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会サッカー競技の部 2位 (男子・女子)</li> <li>・第96回全国高校サッカー選手権鳥取県大会 2位</li> <li>・皇居杯 準優勝</li> <li>・全日本女子サッカー 鳥取県初優勝</li> </ul> <p>○男子バスケットボール部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部 初準優勝</li> <li>・鳥取県高等学校バスケットボール新人大会 初優勝</li> </ul>
活	運動部	<p>○女子バスケットボール部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国高等学校バスケットボール選手権大会鳥取県予選 優勝</li> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部 初優勝</li> <li>・全国高等学校バスケットボール選手権大会鳥取県予選会 初優勝</li> </ul>
動		<p>○陸上・駅伝部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会 1位 (男子 800m・男子 1500m・男子 5000m・男子 400m ハードル男子 3000mSC・男子総合・男子トラック・女子 3000m 女子 5000mW・女子 4×100mR・女子走高跳・女子三段跳 女子砲丸投・女子やり投・女子総合・女子トラック 女子フィールド)</li> <li>・国民体育大会陸上競技 男子 800m 7位</li> <li>・全国高校駅伝競走大会県予選会 男子優勝・女子 2位</li> <li>・第69回全国高校駅伝競走大会 (京都) 出場 男子</li> <li>・第73回米子～鳥取間駅伝競走大会 高校の部優勝</li> </ul> <p>○女子剣道部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国高等学校剣道選手権大会鳥取県予選 団体 2位 個人 優勝・2位</li> </ul>

部 活 動	運動部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会剣道競技の部 団体 2年連続2位 個人 優勝・2位</li> <li>○水泳部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会 女子200m背泳ぎ2位</li> </ul> </li> <li>○ボクシング部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会 優勝（ライト級・フライ級・ライトフライ）</li> </ul> </li> <li>○柔道部： <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校柔道新人戦兼中国高等学校柔道新人大会 鳥取県予選会 個人100kg 超級優勝</li> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会 100Kg 超級 2位</li> </ul> </li> <li>○スキー部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県高等学校総合体育大会 男子大回転 優勝 男子回転 優勝・2位 女子大回転・女子回転 優勝</li> <li>・中国高等学校スキー選手権大会 女子大回転・女子回転 優勝</li> </ul> </li> <li>○バドミントン部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校冬季1・2年生大会 男子シングルス 優勝 男子ダブルス 優勝・準優勝</li> </ul> </li> </ul>
	文化部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話パフォーマンス甲子園出場</li> </ul> </li> <li>○書道部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高校生大作書道展 大作優秀賞</li> <li>・第50回鳥取県高校書道展 連盟賞受賞</li> <li>・イオンモールカップ高校生書道パフォーマンスグランプリ 優勝</li> <li>・全国公募書道展「放哉を書く」 放哉大賞・鳥取県知事賞</li> </ul> </li> <li>○吹奏楽部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本吹奏楽コンクール鳥取大会 銀賞</li> <li>・鳥取県高等学校総合音楽会 優良賞 クラリネット 優良賞 トロンボーン</li> </ul> </li> </ul>

部 活 動	文 化 部	○地域デザイン部
		・鳥取県児童生徒地域地図作品展 国土地理院賞（1位相当）
		・鳥取県ジュニア郷土研究大会 県知事賞（1位相当）
		○新聞部
		・全国高等学校総合文化祭7年連続出場
		・全国高校新聞年間紙面審査賞 優良賞（全国13位相当）
		・鳥取県新聞コンクール 優秀賞 新聞部員特例
		○放送部
		・全国高等学校総合文化祭出場
		○美術部
		・全国高等学校総合文化祭出場
		・高校生国際美術展 高校生国際美術展実行委員会名誉会長賞 （全国4位相当）

## (2) 認定こども園鳥取幼稚園

私学の幼児教育64年の伝統を基に、人格の基礎を形成する重要な時期であり、感動する心、豊かな感性をもち、自立心を育て思いやりの心を育む教育活動を展開し、負託に応える園づくりに努めた。

また、第一、第三、第五の各幼稚園が幼稚園型認定こども園として認定され平成30年度から全園が認定こども園に移行したことにより、各園が一層連携を深めて園児確保に努めることとした。

主な項目	概 要			
	定 員 (人)	園児数 (30.5/1)	参考 (令和元.5/1)	
学級編成	認定こども園 鳥取第一幼稚園	440	9CL 222 人	9CL 203 人
	認定こども園 鳥取第二幼稚園	370	13CL 285 人	13CL 288 人
	認定こども園 鳥取第三幼稚園	200	5CL 91 人	4CL 79 人
	認定こども園 鳥取第四幼稚園	380	14CL 315 人	14CL 327 人
	認定こども園 鳥取第五幼稚園	160	5CL 96 人	4CL 90 人
	合 計	1,550	46CL 1,009 人	44CL 987 人

教職員数	区 分	教 員	職 員	計	合 計
30.5/1 ( )内は、 令和元 5.1	常 勤	93 (92)	16 (15)	109 (107)	181 人 (178)
	非常勤	59 (61)	13 (10)	72 (71)	
園児募集	地域密着生活情報誌「つばさ」年 2 回掲載 (6 月号・10 月号) 経費 1,036,800 円				
教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園：平日 午前 10 時～午後 2 時 (水曜日 午前 10 時～午後 1 時)</li> <li>・認定こども園：平 日 午前 7 時 30 分～午後 7 時 ：土曜日 午前 7 時 30 分～午後 6 時</li> <li>・預かり保育利用：延 2,564 人</li> </ul>				
各種教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽教室 (ピアノ、リトミック 担当：園音楽教員 延 3,881 人)</li> <li>・体育教室 (ボール、器具遊び、プール延 127 回 教室)</li> <li>・英語教室 (歌、ゲーム等による興味つけ 延 338 レッスン)</li> </ul>				
施設整備 充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第四幼稚園 2 階便所改修工事 工期 30.8/1～30.10/31 工事費 4,320,000 円 (内県補助金 1,440,000 円) 施工業者 株式会社 藤原組</li> <li>・第二幼稚園 床補修工事 工期 30.8/13～30.9/12 工事費 1,652,400 円 施工業者 株式会社 懸樋工務店</li> <li>・エアコン設置工事 第一幼稚園 2 台 1,328,400 円、第二幼稚園 2 台 1,598,400 円 第三幼稚園 1 台 486,000 円、第四幼稚園 1 台 529,200 円</li> </ul>				
地 域・ 園行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一園 やきいも大会</li> <li>・二園 醇風地区敬老会・公民館祭り参加</li> <li>・三園 らっきょうウォーク</li> <li>・四園 マーチングフェスタ参加</li> <li>・五園 防火パレード参加</li> <li>・幼稚園を活用した子育て支援 (親子体育教室一・二・四園で実施 計 7 回)</li> <li>・各園再資源化の取り組み (継続)</li> </ul>				
給 食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園 幼児：鳥取幼稚園給食センター委託 198,845 食 乳児：レパスト 委託 42,011 食</li> </ul>				

学校評価	<p>○各園の総合評価 ☆教育目標</p> <p>第一幼稚園 ○A (A) ☆豊かな心を持ち生き生きと遊ぶ子ども</p> <p>第二幼稚園・おひさま保育園 ○A (A) ☆生きる力があふれる子ども</p> <p>第三幼稚園 ○A (A) ☆豊かな感性をもち主体的に活動する子ども</p> <p>第四幼稚園 ○A (A) ☆ゆたかで やさしく たくましいこども (3歳以上児) こころも からだも すこやかに そだちあうこども (3歳未満児)</p> <p>第五幼稚園 ○A (A) ☆明るく たくましく 心豊かな子ども</p> <p>&lt;A 十分達成 B 達成 C 取り組みが十分でない D 不十分&gt; ( ) は 30 年度評価</p>
------	---

### (3) 鳥取城北日本語学校

- ・平成 30 年 10 月 26 日 広島入国管理局より留学生受入校として適合する旨の連絡。
- ・平成 31 年 2 月 22 日 法務省から留学生受入校として適合する旨の告示。
- ・平成 31 年 4 月 1 日鳥取城北日本語学校を開校し、初年度はベトナムから 17 名の留学生を受入れた。

課程	コース名	修業年限	収容定員	クラス数
日本語学科	一般コース	1 年	1 0 0 名	5 クラス
教職員数 30.5/1 ( )内は令和元.5.1	区 分	教 員	職 員	合 計
	常 勤	3 (5)	1 (1)	3 (6)

### (4) 事 務 局

法人業務を総括し、理事会・評議員会の開催事務や県の検査等に対応するとともに、鳥取城北日本語学校の設立、幼稚園の認定こども園への移行を進めた。

職員数	区 分	職 員	合 計
30.5/1 ( )内は令和元.5.1	常 勤	10 (11)	11 (12)
	非常勤	1 (1)	

主な項目	概 要
公認会計士 委嘱	池 原 浩 一 (平成 30 年度会計監査) 契 約 (年度毎) 平成 30 年 6 月 1 日 経費 1,512 千円

法律顧問契約	弁護士 駒井重忠 契約 平成25年9月26日(期間継続) 経費 648千円
社会保険労務士 顧問契約	特定社会保険労務士 山下靖夫 契約 平成28年9月30日(期間継続) 経費 130千円
規則制定・改正 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取城北高等学校学則改正(普通コースの研志への名称変更)</li> <li>・矢谷学園文書規則制定</li> <li>・矢谷学園事務決裁規則制定</li> <li>・鳥取城北日本語学校学則制定・改正</li> <li>・組織運営に関する規則の一部改正</li> <li>・契約の事務手続きに関する規則の全部改正</li> <li>・建学の精神(案)の一部改正について</li> <li>・規則の改正(学校法人名変更による一括改正)</li> </ul>
30年度事業に 関する監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月18日 会計検査院検査(城北)</li> <li>・平成30年4月19日 会計検査院検査(一園・三園)</li> <li>・平成30年9月19、20日 平成29年度決算に係る財政的援助団体等に係る事務監査 ・・・鳥取県監査委員事務局</li> <li>・平成30年10月30日 平成29年度決算に係る財政的援助団体等に係る監査(本監査) ・・・鳥取県監査委員</li> <li>・平成30年11月21日、12月4、7日 平成30年度11・12月期中監査(公認会計士)</li> <li>・平成31年2月27日、3月4、8、11日 平成30年度2・3月期中監査(公認会計士)</li> <li>・平成31年4月11日 平成30年度実査(公認会計士)</li> <li>・平成31年4月23日 鳥取県補助金検査(平成30年度実績)</li> <li>・令和元年5月7、13、20、21、24、27、28日 平成30年度決算監査(公認会計士)</li> <li>・令和元年5月28日 平成30年度 監事会計事業監査</li> <li>・平成30年度児童福祉施設等指導監査(二園・四園) ※書面監査</li> </ul>
法人名称 の変更	平成31年4月1日付けで、矢谷学園から鳥取学園に変更した。 平成31年1月17日 鳥取県知事から変更許可

### 3 経営状況

#### (1) 鳥取学園経営理念

学校法人鳥取学園は、建学の精神に則り、教育を通じて社会に貢献する。園児・生徒・学生・保護者・卒業生及び教職員は一体となり、将来にわたって地域社会とともに歩んでいくことを期し、次の点を重視し、強固な経営基盤の確立を図る。

- ・ 園児、生徒、学生を人として重んじ、それぞれの発達段階に応じた教育を通じて社会の負託に応える。
- ・ 経営における社会的責任を自覚し、透明性のある経営に努める。
- ・ 教職員と将来ビジョンを共有し、教職員の資質の向上と生活の安定に努める。

#### (2) 鳥取学園経営方針

- ・ 収支バランスに配慮しながら、持続可能な経営を行う。
- ・ 投資にあたっては費用対効果を十分に検証するとともに、確実な投資資金の返済計画を立てて実践する。
- ・ 特に、高校校舎改築借入金の計画的かつ円滑な返済と日本語学校の早期経営安定に留意する。

#### (3) 経営状況の概要

次年度繰越支払資金は176百万円増加しているが、高校校舎改築資金は補助金を除けば多額の借入金を充当しており、今後の長期間にわたる借入金の返済に備え、支払資金の確保は重要な課題である。

また、日本語学校の運営を早急に軌道に乗せ、学園経営に支障をきたすことのないように努める必要がある。

事業活動収支は375百万円の赤字を計上している。これは高校校舎解体に係る臨時的な経費の計上による一時的なものと考えるが、引き続き経費の削減と生徒園児の確保による収入の増加を図り、経営の安定に努めなければならない。

#### (4) 資金収支の推移

※ 資金収支は当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容（改築工事に係る収支を含む）と支払資金の収入と支出のてんまつを明らかにするもの

(単位: 百万円)

年度	26	27	28	29	30	
収入 (A)	2,421	2,773	3,197	4,459	3,295	
城北高校	897	1,055	1,629	2,927	1,439	調整勘定等 を除く施設 別収入
幼稚園・認定こども園	873	1,185	802	850	925	
城北日本語学校	/	/	/	/	0	
事務局	0	0	20	19	0	
前受金収入・その他の収入	749	765	971	966	1,080	
資金収入調整勘定	▲ 98	▲ 232	▲ 224	▲ 303	▲ 150	
支出 (A)	2,482	2,777	3,215	4,340	3,119	
城北高校	929	1,119	1,519	2,801	1,431	調整勘定等 を除く施設 別支出
幼稚園・認定こども園	804	1,112	784	820	904	
城北日本語学校	/	/	/	/	43	
事務局	21	40	70	68	11	
資産運用支出・その他の支出	835	740	945	860	934	
資金支出調整勘定	▲ 106	▲ 234	▲ 103	▲ 210	▲ 203	
収支差額 (A-B)	▲ 62	▲ 4	▲ 17	119	176	
城北高校	▲ 31	▲ 64	110	125	9	調整勘定等 を除く施設 別収支差額
幼稚園・認定こども園	69	73	18	30	21	
城北日本語学校	/	/	/	/	▲ 42	
事務局	▲ 21	▲ 40	▲ 50	▲ 49	▲ 11	
その他の収支差額	▲ 86	25	26	106	146	
調整勘定収支差額	8	2	▲ 121	▲ 93	53	
次年度繰越支払資金	390	387	369	488	665	

平成30年度の城北高校の収支差額（黒字）が大きく縮小している要因は、当該年度の校舎解体経費144百万円及び机、椅子等の初度調弁費32百万円の臨時的経費の支出などが主なものである

#### (5) 事業活動収支（消費収支）の推移

従来の消費収支計算書は平成28年度決算から事業活動収支計算書と名称が変わり様式も変更された。法人計と各部門別の収支については、従来の消費収支と比較している。

また、新たに設定された事業活動区分による収支を平成28年度から計上することとし、平成30年度分（下表エ）を記載している。

※ 事業活動収支（消費収支）では教育活動に必要な資産の取得に係るものを除き（ただし施設整備費補助金を含む）、経常的な収支バランスを明らかにするもの

##### ア 学園全体の科目別収入及び施設別収入の推移

(単位:百万円)

年度		26	27	28	29	30
	学生生徒納付金	576	598	654	701	663
	手数料	26	24	24	23	22
	寄付金	4	5	44	13	9
	補助金	697	840	902	1,431	1,061
	運用収入	1	0	0	0	0
	事業収入	172	135	139	145	140
	雑収入	76	169	62	99	100
	合計	1,552	1,771	1,825	2,413	1,994
施設別	城北高校	739	858	1,023	1,564	1,078
	幼稚園・認定こども園	813	913	802	850	916
	城北日本語学校					0
	事務局	0	0	0	0	0

園児の減、こども園化による保育料から補助金への移行

←校舎改築減幼稚園増

## イ 学園全体の科目別支出及び施設別支出の推移

(単位:百万円)

年度		26	27	28	29	30
	人件費	1,191	1,320	1,156	1,291	1,350
	経費	456	518	495	561	847
	借入金等利息	3	5	9	12	22
	資産処分差額	4	18	44	5	150
	徴収不能引当金	2	1	1	1	0
	合計	1,656	1,861	1,704	1,870	2,369
施設別	城北高校	814	960	924	996	1,390
	幼稚園・認定こども園	820	856	756	818	924
	城北日本語学校					46
	事務局	22	45	23	56	9

←校舎解体

## ウ 施設別の収支差額の推移

(単位:百万円)

収支差額 (アイ)		▲ 103	▲ 90	121	544	▲ 375
施設別	城北高校	▲ 75	▲ 102	99	568	▲ 312
	幼稚園・認定こども園	▲ 7	57	46	31	▲ 8
	城北日本語学校		0	0	0	▲ 46
	事務局	▲ 21	▲ 45	▲ 23	▲ 56	▲ 9

エ 平成30年度事業活動収支内訳

(単位:百万円)

内訳		城北高校	認定こども園	日本語学校	事務局	法人計	
教育活動収支							
収入	H29	1,047	847		0	1,894	
	H30	1,028	912	0	0	1,941	
支出	H29	988	814		51	1,853	
	H30	1,225	917	46	9	2,197	
収支差額	H29	59	33		▲51	41	
	H30	▲196	▲5	▲45	▲9	▲256	
教育活動外収支							
収入	H29	0	0		0	0	
	H30	0	0	0	0	0	
支出	H29	8	3		0	12	
	H30	18	3	0	0	22	
収支差額	H29	▲8	▲3		▲0	▲12	
	H30	▲18	▲3	▲0	▲0	▲22	
特別収支							
収入	H29	517	3		0	519	
	H30	49	4	0	0	53	
支出	H29	0	1		4	5	
	H30	147	4	0	0	150	
収支差額	H29	517	2		▲4	514	
	H30	▲98	0	▲0	0	▲97	
基本金組入前		H29	568	31		▲55	544
当年度収支差額		H30	▲312	▲8	▲46	▲9	▲375
基本金組入額合計		H29	▲437	▲19		0	▲456
		H30	0	▲37	▲1	▲2	▲40
当年度収支差額		H29	130	13		▲55	88
		H30	▲312	▲45	▲47	▲11	▲415

→ウ表の網掛部分と一致

城北高校の教育活動収支差額▲196百万円は、校舎解体経費183百万円（平成29年度支払い済みの39百万円（建設仮勘定から費用化）を含む）及び初度調弁費32百万円の臨時的経費の支出などが主な要因である。

また、特別収支収支差額▲97百万円は校舎解体に係る資産処分差額142百万円（城北高校分）が主な要因である。

※ 基本金組入額

教育活動に必要な土地・建物、運転資金等を永続的な教育活動を担保するために計上するもので、観念的な簿記上の取引。

基本金を組み入れた上でこの収支がバランス（0以上）していれば、将来の固定資産取得時に取得資金が残っていることになる。